

北上支部だより

令和6年2月20日発行 No3
岩手県看護協会 北上支部

■研修会「標準予防策と経路別予防策を学び、実践できる」

講師：感染管理認定看護師 高橋 睦氏

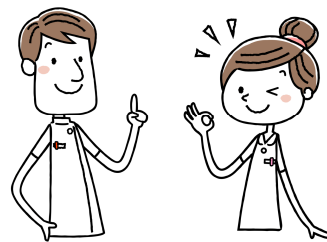
とき：10月13日(金)

場所：岩手県立中部病院

時間：18:30～19:30

西和賀さわうち病院 米澤 恵利香

令和5年10月13日(金) 中部病院にて「感染対策の基礎：標準予防策と経路別予防策を学び実践できる」をテーマにした研修会が開催されました。講師に中部病院感染管理認定看護師の高橋睦さんをお招きし、ポストコロナの状況にあっても大切な基本的対策についてスライドを沢山用いてわかりやすく講義していただきました。参加者からは「患者さんに感染させないようPPEの装着を徹底していきたい」「手指衛生の5つのタイミングを周知したい」などの感想が寄せられ、これまでの対策の振り返りや、自施設の課題に活用できる有意義な研修となりました。



■高齢者施設出前研修■

講師：感染管理認定看護師 高橋 睦氏

とき：12月27日(水)

場所：特別養護老人ホーム いいとよ

時間：13:30～

岩手県立中部病院 昆 修子

令和5年12月27日「特別養護老人ホーム いいとよ」にて「感染管理」をテーマに岩手県立中部病院 感染管理認定看護師 高橋 睦先生による出前研修が開催されました。施設職員12名の参加があり感染対策に必要な基礎的知識や標準予防策、及び、感染発生時の拡大予防の適切な対応方法について講義して頂きました。参加者からは「実践に活かせる内容でありわかりやすかった」「感染対策について確認できた」「対策がこれで良いのか曖昧な部分があったが、今回の研修で知ることができた」「定期的に行い、意識を維持していければ良い」などの感想が寄せられました。高齢者が集団で生活する介護の現場では、職員全員が適切な感染対策を持続していくことが大切であることを再確認した研修となりました。

■研修会「身寄りのない方への権利擁護支援を考える」

講師：医療法人謙和会 荻野病院
イーハトーブ地域包括支援センター鈴木智之氏

とき：11月8日(水)
場所：岩手県立中部病
時間：18:30～20:00

北上済生会病院 江本 淳子

11月8日、医療法人謙和会 荻野病院 イーハトーブ地域包括支援センターの鈴木智之先生をお招きし身寄りのない方の権利擁護支援についての研修会が行われました。「身寄りがいない」と聞くと医療に携わっているひとはすぐに解決困難事例として問題化してしまう側面があります。本人が困っていない状況でも周囲(=社会)が問題としてしまう。身寄りがいない本人が問題というよりも家族や親類の協力が得られない状況を周囲が問題、不安として認識する傾向にあります。これが無自覚に、日常的に患者さんを抑圧し権利を抑圧していることとなります。医療従事者側が判断するのではなく、家族であっても他者であっても本人との関係性への視点から捉えていくことが大切であり、私たちはすぐ解決に急いでしまうことに気付かされました。「あなたの健康のためだから」「あなたの命のためだから」として、実行される管理こそが、人々を抑圧する側面があるのです。だからこそ身寄りのない方への支援は、判断能力や障害の程度、家族の有無、血縁、経済的条件などを問わず、人とのつながりや関係性の観点からとらえなおし、社会の問題として様々な制度の活用と意思決定支援を対話とチームアプローチの中で実践していくことが必要であり、本人にとってどうなのか専門性が求められると思いました。



おわりに

12月19日(土)北上済生会病院に令和5年度地域別懇談会(中央)に参加させていただきました。上半期事業実施状況と下半期活動予定についての報告と意見交換がされされました。そのなかで、会員数7770名目標達成に対し、12月3日時点で7703名の会員数であることを知り、北上支部でも新規入会・再入会に向け入会の促進に向け取り組んでいこうと思います。今後も、皆様のご支援とご協力をよろしくお願い致します。

